

令和5年度 第3回

## 安城市博物館協議会

令和6年1月26日(金)

午後1時30分～

歴史博物館・講座室

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 令和5年度開催済事業報告

(2) 令和6年度事業計画(案)

3 その他

(1) 今後の日程

・第1回 令和6年5月下旬 予定

## 安城市博物館協議会委員

(任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日)

	氏名	選任区分	備考
会長	高山 忠士	学識経験者	
副会長	加藤 りせ子	社会教育	
委員	松永 博司	学校教育	
委員	荒井 信貴	学識経験者	
委員	市川 とし子	学識経験者	
委員	平岩 政志	公募委員	

## 安城市民憲章

わたくしたちは安城市民です。  
わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた  
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、  
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- \*たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- \*きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- \*自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- \*教養を高め、若い力を育てましょう。
- \*健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

—昭和47年11月1日制定—

●安城市民憲章推進協議会●

# (1) 令和5年度開催済事業報告

## ア 利用状況

(ア) 月別入館者数 ※12月末までの入館者数

月	展示観覧者						行事参加者	文献資料室 利用者	その他	延べ入館者 合計
	有料		無料		計					
	大人	計	大人 中学生以下	計	大人計 中学生以下計	合計				
4	418	418	1,621 447	2,068	2,039 447	2,486	513	15	458	3,472
5	359	359	2,550 2,527	5,077	2,909 2,527	5,436	1,252	12	440	7,140
6	306	306	1,503 2,736	4,239	1,809 2,736	4,545	352	12	400	5,309
7	1,811	1,811	1,335 400	1,735	3,146 400	3,546	553	22	356	4,477
8	2,628	2,628	2,936 653	3,589	5,564 653	6,217	1,668	40	414	8,339
9	2,249	2,249	1,525 309	1,834	3,774 309	4,083	724	10	321	5,138
10	3,284	3,284	2,832 954	3,786	6,116 954	7,070	1,177	7	1,423	9,677
11	317	317	1,277 418	1,695	1,594 418	2,012	410	15	343	2,780
12	170	170	2,124 1,060	3,184	2,294 1,060	3,354	773	13	794	4,934
計	11,542	11,542	17,703 9,504	27,207	29,245 9,504	38,749	7,422	146	4,949	51,266

(イ) 利用形態別入館者数 ※12月末までの入館者数

月	企画展 観覧者	常設展 観覧者	講演会	歴博講座	体験講座	連続講座	入門講座	歴博イベント	歴博演芸場	企画展 関連イベント	文献資料室	その他	延べ利用 者合計
4	1,832	654	20	0	0	32	0	49	0	412	15	458	3,472
5	3,685	1,751	0	15	348	29	0	301	0	559	12	440	7,140
6	2,692	1,853	0	0	0	29	0	16	62	245	12	400	5,309
7	1,908	1,638	96	0	87	0	0	16	0	354	22	356	4,477
8	3,489	2,728	89	89	83	0	0	155	192	1060	40	414	8,339
9	2,364	1,719	83	0	0	0	0	7	0	634	10	321	5,138
10	4,323	2,747	79	0	0	17	0	0	115	966	7	1423	9,677
11	1,323	689	0	0	0	15	19	31	0	345	15	343	2,780
12	2,873	481	85	54	0	22	27	0	0	585	13	794	4,934
計	24,489	14,260	452	158	518	144	46	575	369	5,160	146	4,949	51,266

### その他内訳

部屋利用等	1,778人	職場体験	(延べ) 50人
安祥文化のさとまつり	895人		
博物館実習	(延べ) 72人	多目的利用	2,154人

## イ 収集・保管活動

### (ア) 資料整理状況

#### (a) 寄贈資料群 4件

- ・東端町大橋家資料（近代、地券土地書類等）
- ・野寺町神谷家資料（近代、資料）
- ・石井町石川家資料（現代、学校写真類）
- ・篠目町愛知県畜産総合センター種鶏場資料（現代、アルバム・事務書類）

#### (b) 購入資料 5件44点

- ・村越伝記実録 5冊
- ・太閤記 10冊
- ・御上洛記 1冊
- ・河内名所図会 6冊
- ・山州名跡志 22冊

#### (c) 借用・調査資料 なし

#### (d) 寄託資料 なし

#### (e) 整理資料 51件 文書3,522点、民具147点 計3,669点

- ・朝日町岡田家資料（岡田菊次郎関係） 文書資料86点  
民具資料25点
- ・高棚小学校資料（近現代、教科書・学級日誌等） 文書資料211点
- ・東端町大橋家資料（近代、地券等土地関係書類） 文書資料49点
- ・横山町稲垣家資料資料（近世近代、河内国等文書） 文書資料160点
- ・愛知乾蘆倉庫資料（近代、事務書類） 文書資料65点
- ・桜井町河原家資料（近代、書画・文机等） 文書資料17点  
民具資料3点
- ・箕輪町岩井家資料（氏子札） 文書資料63点
- ・整備工場資料（古銭・瓦等） 文書資料10点  
民具資料7点
- ・学芸員室内資料（「諸職絵様雛形」「孟子」） 文書資料4点
- ・工作室室内資料（安城町絵葉書等） 文書資料5点
- ・鹿児島県豊田家資料増加分（教員関係） 文書資料3点
- ・根崎町観音寺資料（塔婆回向志納帳等） 文書資料2点
- ・朝日町築山家（久永相模守書幅） 文書資料1点
- ・東端町杉浦家資料追加（書籍「一話一言」） 文書資料5点
- ・碧南市新川町小林家資料（明治航空隊寄書き帳等） 文書資料5点  
民具資料6点
- ・法連町筒木啓二家資料（軍隊送迎入場証等） 文書資料7点  
民具資料5点
- ・桜町石川家資料追加（梨段ボール箱） 民具資料1点
- ・埼玉県榑原家資料（近世近代、桜井神社文書） 文書資料866点  
民具資料19点
- ・古井町松下家資料（軍事用サイレン） 民具資料1点

- ・東京都長谷川家資料追加（三好弥関係） 文書資料 142 点
- ・今本町高見家資料増加分（近世～現代書籍、養鶏関係書） 文書資料 108 点
- ・高木町稲垣家資料（おみくじ） 民具資料 1 点
- ・和泉町杳名家資料（兵器箱） 民具資料 1 点
- ・安城町杉本家資料（近代、学校賞状・書籍、相続講関係） 文書資料 752 点  
民具資料 3 点
- ・桜井町平野家(横山医院)資料（近代、医師道具、患者名簿等） 文書資料 62 点  
民具資料 1 点
- ・福釜町浅岡家資料（膳箱一括） 民具資料 70 点
- ・福釜町神谷家資料（軍隊時代・家族等アルバム） 文書資料 5 点
- ・桜井町鈴木克彦家資料（安城町・桜井神社絵葉書） 文書資料 2 点
- ・京都府木谷家資料（万歳画） 文書資料 1 点
- ・御幸本町加賀澤家資料（新幹線三河安城駅開業関係） 文書資料 43 点  
民具資料 3 点
- ・堀内町小倉家資料（六字名号・ヤブ神石） 民具資料 1 点
- ・赤松町安藤家資料（青年学校日記） 文書資料 2 点
- ・高棚町近藤家資料（現代、日記・写真等） 文書資料 43 点
- ・安城町山口家資料（第九大区五小区全図(複製)） 文書資料 1 点
- ・長久手市農業総合試験場資料（「農作業の写真とネガ集」） 文書資料 2 点
- ・里町神谷秀男家資料（民謡安城野原節レコード） 文書資料 1 点
- ・豊田市向井家資料（昭和 17 年明治村取調帳） 文書資料 1 点
- ・高木町小野田家資料（小学校写真等） 文書資料 5 点
- ・出所不明資料 1（昭和 15 年「産業の安城」） 文書資料 1 点
- ・出所不明資料 2（近代教科書類） 文書資料 10 点
- ・南明治地区資料（住民名簿等） 文書資料 20 点
- ・名誉市民等資料（写真・功績調書等） 文書資料 24 点
- ・刈谷市高橋家資料（雑誌「流芳」等） 文書資料 3 点
- ・養生書類（購入）（近世養生書） 文書資料 7 点
- ・村越伝記実録（購入）（近世軍記物） 文書資料 5 点
- ・太閤記（購入）（近世軍記物） 文書資料 10 点
- ・御上洛記（購入）（近世前期幕府記録） 文書資料 1 点
- ・桜井町菩提寺資料増加分（寄託）（寺関係） 文書資料 8 点
- ・碧南市願随寺資料増加分（借用）（寺関係） 文書資料 3 点
- ・今本町高見家資料増加分（借用）（写真アルバム） 文書資料 102 点
- ・岡崎市浄妙寺資料（借用）（寺関係書類、幕末記録） 文書資料 599 点

## ウ 展示活動

### (ア) 常設展展示替え

月 日	変更箇所	内 容
8月10日	第3章 西からの風 (安城の古代) 顔のメッセージ、弥生のムラのくらし 第6章 村の文化 文人丈山の世界、俳諧・狂俳の世界	博物館実習生による展示 実習
12月28日	第2章 山と海の幸に生きる (安城の原 始) 堀内貝塚 第3章 西からの風 (安城の古代) 弥生 のムラのくらし 同章 巨大な墓の出現	堀内貝塚出土土器の展示 鹿乗川流域遺跡群出土の 石鏃・銅鏃、横櫛、石包 丁等の展示 北本郷古墳副葬品等の展 示

### (イ) 特別展・企画展

	区 分	名 称	期 間	目標値	実績値
①	企画展	安城の今昔4 はかり匱 -暮らしのなかのはかる道具-	4月8日～ 6月25日	6,900人	8,209人
②	特別展	安城譜代1 徳川の支柱酒 井氏-左衛門尉家と雅楽頭 家-	7月15日～ 8月27日	4,300人	5,397人
③	特別展	安城譜代2 三河本多一族	9月16日～ 10月29日	4,300人	6,687人
④	企画展	家康と三河の城	11月18日～ 1月14日	3,000人	6,519人
⑤	特別展	昭和の家族 -安部朱美創作人形展-	2月3日～ 3月24日	8,000人	未
			合 計	26,500人	26,812人
			4年度		28,571人

※①企画展「安城の今昔4 はかり匱 - 暮らしのなかのはかる道具 -」報告済

②特別展「安城譜代1 徳川の支柱酒井氏-左衛門尉家と雅楽頭家-」報告済

③特別展「安城譜代2 三河本多一族」→P7

④企画展「家康と三河の城」→P8

③ 特別展「安城譜代2 三河本多一族」

- a 会 期 令和5年9月16日(土)～10月29日(日) 実開館日40日
- b 観覧者数 6,687人【目標4,300人】1日平均167人
- c 期間中の催し物  
主なものは「エ 教育普及活動」(P9～)に記載
- d 音声ガイドの利用状況 873人 (利用率13%)
- e 展示図録 1,200部発行 販売数612冊
- f 展示について
  - (a) 展示点数128点
  - (b) さまざまな分かれのある本多家のうち、三河を拠点とした五家(中務大輔家、小川本多家、豊後守家、作左衛門家、伊奈本多家)を取り上げた。また特に豊後守家、作左衛門家、伊奈本多家に焦点をあてた展示構成とし、時代ごとに各家の事績を紹介する形をとした。そのため展示室内の随所に年表や系図、家名パネルを設置し、観覧しやすいよう工夫を行った。
  - (c) 資料調査および資料選定、借用申請事務を同時進行で進める厳しいスケジュールとなってしまうため、結果として図録の発行の遅れを招いた。
  - (d) 本多一族は分かれが多く、各家での交流もあまり見られないうえ、度重なる転封のため資料が一箇所に残っていない。そのため、本展で各家の資料を一堂に集め、その概要を提示できたことは大きな意味があったと考えられる。
- g 観覧者について
  - (a) 最終観覧者数は6,687人であり、目標達成率は156%と高い数字になった。県内(市外)からの観覧者が最も多く全体の7割を占め、年代では50代、性別では男性が多かった。
  - (b) 大河ドラマをきっかけに来館する層が多くみられた。また大河ドラマ館入場券(半券)の提示による割引利用者や、酒井氏展と本展の観覧セット券についても好評であり、本展が高い関心を寄せられていたことが推察される。
  - (c) 記念講演会について、本展より申込方法を変更した。あいち電子システムおよび往復はがきによる事前申込制とした記念講演会は両回とも定員を上回る応募があった。申込方法を変更したことで、申込の聞き間違いの防止、申込者を明確にできるなど利点もあったが、事務手続の増加や無断欠席に対する対策など今後の検討課題も明らかとなった。
  - (d) 音声ガイドについては観覧者全体の13%が利用した。直近の一向一揆展(17%)や酒井展(15%)よりは下回るものの、戦国期を取り上げた展覧会の中では平均的な利用率となった。
- h PRについて
  - (a) メディアの取材については中日新聞とKATCH、Pitch FMの3件のみに留まり、大河ドラマの放送中にも関わらず少ない印象だった。

#### ④ 企画展「家康と三河の城」

- a 会期 令和5年11月18日(土)～令和6年1月14日(日) 実開館日44日
- b 観覧者数 6,519人【目標3,000人】1日平均148人
- c 期間中の催し物  
主なものは「エ 教育普及活動」(P9～)に記載
- d 音声ガイドの利用状況 249人 (一般観覧者利用率3.8%)
- e パンフレット 1,600冊発行
- f 展示について
  - (a) 展示点数431点(考古資料413点、文書史料18点)。
  - (b) 今回の展示では、三河の城と徳川家康の半生を絡めた内容とした。その上で安城市域の城も紹介できるように、安城松平家等も対象として展示を構成した。4章立てとして、第1章は家康以前の城と集落、第2章は家康誕生から三河平定、第3章は武田氏・秀吉との対峙、第4章は家康関東移封後の三河とした。
  - (c) 企画展という性質上、埋蔵文化財センター・博物館蔵資料等の安城市に関わるものを展示の中心に据えたが、周辺市の多大なる協力を得られたため三河の主要な城の考古資料についても展示することができた。
  - (d) 城の構造、遺物に関する解説を適宜入れることで、難解な用語を理解する一助とした。音声ガイドについても解説パネルよりわかりやすい表現に努めた。
  - (e) 展示解説は3回(11月26日15人、12月24日15人、1月13日26人)実施し、観覧者の理解及び満足度を高められるよう努めた。
- g 観覧者について
  - (a) 観覧者は見学学習(238人、引率10人)を除くと大人5,480人、小人791人であった。なお、見学学習以外にも安城南部小学校5・6年生に校外学習(183人、引率8人)で見学いただいた。
  - (b) アンケート結果から、市内30%、市外59%、県外11%であった(音声ガイドでは市内25%、市外69%、県外4%であった)。男性56%、女性43%とやや男性の比率が高く、年齢層は50代、60代、70代の順に多かった。一方、次に40代、10代、10代未満と続いたように、冬休み期間などに親子連れも多く来館していただいた。展示満足度も「非常に満足」「満足」が88%とおおむね好評をいただけた。
  - (c) 1月13日JRさわやかウォーキングには905人(イベント粗品配布数。当日観覧者数は1,209人)の参加を得た。このほかにも大河ドラマ効果やマンホールカードの配布など外部要因も大きく働いた。あわせて、指定管理者イベントと関連して集客することができ、目標人数を達成することができた。
  - (d) 歴博講座はコロナ前の当日先着順で実施した。資料印刷数の課題も残すものの、あいち電子申請・往復はがきによる申込みと比べると事務省力化を図ることができ、講座内容によって検討したい。
- h PRについて
  - (a) メディアの取材は中日新聞、KATCH、Pitch FMのほか、放送されなかったものの東海テレビの取材があった。



## エ 教育普及活動

### (ア) 講演会・講座

#### a 展覧会記念講演会 会場：講座室 午後2時 聴講無料

開催日	演題	講師	聴講者数
4月23日	はかる道具と昔の暮らし	岡本大三郎氏 (東海民具学会会長)	20
7月22日	初代忠次と酒井左衛門尉家の行く末	菅原義勝氏 (致道博物館学芸員)	96
8月20日	松平・徳川氏重臣酒井雅楽頭政家	平野明夫氏 (國學院大學講師)	89
9月30日	本多中務大輔家の本家と分家について	堀江登志実氏 (岡崎市文化財保護審議会委員)	83
10月21日	越前のふたつの本多家ー福井藩家老・丸岡藩主ー	角 明浩氏 (坂井市龍翔博物館 学芸員)	79
12月3日	発掘調査からみた家康と三河の城・中世集落	鈴木正貴氏 (公財愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター調査課長)	85

合計452人

#### ・第13回松平シンポジウム

会場：へきしんギャラクシープラザ 午後1時 資料代100円

開催日	演題	講師	聴講者数
10月15日	「秀吉家康入魂 - 徳川家康と豊臣政権ー」	コーディネーター： 播磨良紀氏 (中京大学名誉教授) パネリスト： 谷口央氏 (東京都立大学教授) 山本浩樹氏 (龍谷大学教授)	156

合計156人

#### b 歴博講座・入門講座・連続講座

(a) 歴博講座 会場：講座室 午後2時 聴講無料

開催日	演題	講師	聴講者数
5月21日	『はかる』の歴史	西島庸介 (本館学芸員)	15
8月12日	酒井二家の相違	三島一信 (本館学芸員)	89
12月16日	安城市域の中世城館	西島庸介 (本館学芸員)	54

合計158人

(b) 入門講座 会場：講座室

午前10時 500円 (全5回分、資料代、常設展観覧料含む)

開催日	演題	講師	聴講者数
11月12日	はじめの一步！安城の歴史	片岡 晃 (本館館長)	10
11月26日			9
12月10日			15
12月24日			12
1月14日			13

合計59人

(c) 連続講座「村絵図で巡る安城今むかし」 会場：講座室ほか

午後1時30分 1,500円 (全6回分、資料代含む)

開催日	演題	講師	聴講者数
4月8日	箕輪村	高山忠士氏 (本館元館長)	16
4月22日	福釜村		16
5月13日	堀内村		13
5月27日	小川村1		16
6月3日	小川村2		15
6月10日	小川村3		14

合計90人

(d) 連続講座「安城歴博・中京大学連携講座」 会場：講座室

午後2時 各回200円 (資料代含む)

開催日	演題	講師	聴講者数
10月28日	椿井文書—日本最大級の偽文書	馬部隆弘氏 (歴史文化学科教授)	17
11月25日	『三河守藤原朝臣顕長』在銘の壺をめぐって	西村健太郎氏 (文化科学研究所特任研究員)	15
12月23日	初代尾張藩主徳川義直の思想像の変遷	小川和也氏 (歴史文化学科教授)	22
1月27日	徳川家康の遺命と付家老	白根孝胤氏 (歴史文化学科教授)	未
3月16日	西郷隆盛像の変遷—錦絵・銅像・肖像にみる西郷どん—	中元崇智氏 (歴史文化学科教授)	未

合計54人

## (イ) 指定管理 展示関連イベント

開催日	タイトル	関連展示	実施日	参加人数
4月8日～ 6月25日	測って量って計り <sup>ます</sup> クイズラリー	企画展「はかり <sup>ます</sup> <input checked="" type="checkbox"/>	68日間	1,143
4月29日	走る！跳ぶ！体力をはかり <sup>ます</sup> <input checked="" type="checkbox"/>	同上	1日間	57
6月10日	最新の測量機器をつかってはかり <sup>ます</sup> <input checked="" type="checkbox"/>	同上	1日間	16
7月15日～ 8月27日	家紋のステンシルで小物づくり体験	特別展「徳川の支柱 酒井氏」	39日間	330
7月15日～ 8月27日	クイズラリー酒井家の名宝を探せ！	同上	同上	309
7月15日～ 8月27日	安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏 フォトスポット	同上	同上	759
8月25日	ナイトミュージアム 「安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏」 展示解説	同上	1日間	16
9月16日～ 10月29日	家紋のステンシルで小物づくり体験	特別展「三河 本多一族」	40日間	400
9月16日～ 10月29日	三河本多一族 フォトスポット	同上	40日間	751
9月16日～ 10月29日	謎解きクイズラリー『智将・本多正 信にチャレンジ!』	同上	40日間	400
9月23日	講話『鷹をとおして知ったこと ～ 鷹狩りの歴史と文化～』	同上	1日間	29
10月22日	本多忠勝の父祖・安城合戦をめぐる ウォーキング	同上	1日間	20
11月18日～ 12月24日	あんじょう家康ガイドと巡る安城城 クイズラリー（土・日・祝日のみ）	企画展「家康 と三河の城」	13日間	378
11月18日～ 1月14日	家康と三河の城クイズ	同上	44日間	290
11月18日～ 1月14日	家康と三河の城 フォトスポット	同上	44日間	528
11月19日	Doする家康安城城フォトウォークラ リー	同上	1日間	28
12月2日	切り絵の御城印づくり	同上	1日間	10

2月3日～ 3月24日	昭和の遊び体験	特別展「昭和の家族」	45日間	未
2月3日～ 3月24日	昭和の家族 フォトスポット	同上	45日間	未
2月10日	和菓子職人に教わる季節の和菓子づくり	同上	1日間	未
2月17日 2月24日 3月17日 3月24日	昭和の遊び体験 外遊びDAY	同上	4日間	未

合計5,464人

(ウ) 指定管理 体験講座等

開催日	演題	講師	参加人数
5月3日～ 5月5日	鎧の試着会	指定管理者、博物館ボランティア	308
5月14日	1日子ども学芸員体験会①「博物館で安城の歴史を学ぼう」	文化振興課職員 協力：一般社団法人安城青年会議所	20
5月21日	1日子ども学芸員体験会②「博物館常設展で来館者に説明しよう」	文化振興課職員 協力：一般社団法人安城青年会議所	20
7月16日	『酒井の太鼓』伝説に挑戦～和太鼓を体験してみよう～	安城太鼓会ほだら	38
7月28日～ 7月30日	夏休み自由研究相談会	文化振興課職員	49
8月5日	オリジナル風鈴づくり	指定管理者	41
8月26日	『酒井の太鼓』伝説に挑戦～和太鼓を体験してみよう～	安城太鼓会ほだら	42
3月2日	三河の伝統食 箱ずしを作ろう	杉浦ひろ子氏 (安城エプロン会)	未

合計518人

(エ) 指定管理 歴博演芸場 会場：石舞台・講座室 鑑賞無料

開催日	演題	講師	参加人数
6月24日	唱歌コンサート	安城学園高校合唱部	62
8月26日	安城太鼓会ほだら 和太鼓演奏	安城太鼓会ほだら	中止

8月27日	グレート家康公「葵」武将隊 グレート演武	グレート家康公「葵」 武将隊	192
10月8日	安祥文化のさとまつり 和太鼓競演	安城太鼓会ほだら 他	115
1月7日	三河万歳 「新春招福の初舞」	安城の三河万歳保存会	63
3月9日	和モノフェス 和太鼓競演	安祥太鼓	未
3月9日	和モノフェス 殺陣ショー	楠見彰太郎氏 暮らしの 学校安城アンフォーレ 校・岡崎校、座☆風流堂 岡崎演劇塾	未
3月9日	和モノフェス 唱歌コンサート	安城学園高校合唱部	未

合計432人

(オ) 指定管理 歴博イベント

開催日	タイトル	参加人数
4月1日～4月7日	歴史博物館クイズラリー①	12
4月8日	農家ではたらくクルマ写生大会&写真撮影会	37
5月14日～5月21日	マイクラフトで理想の安城市歴史博物館を作ろう! 来館者投票	166
5月21日	1日子ども学芸員体験会 常設展ガイド参加人数	94
5月28日～6月25日	西尾町内会春祭りくじ引きガチャ	55
6月27日～7月14日	歴史博物館クイズラリー②	18
8月25日～8月26日	ナイトミュージアム「マイブクエスト」※	(66)
8月26日～8月27日	ナイトミュージアム「博物館ナイトツアー」	98
8月27日	ナイトミュージアム「土器ドキ晩ゴハン」	49
8月29日～9月15日	歴史博物館クイズラリー③	15
10月31日～ 11月17日	歴史博物館クイズラリー④	31

1月16日～2月2日	歴史博物館クイズラリー⑤	未
2月3日～3月24日	歴博福よせ雛	未
3月26日～3月31日	歴史博物館クイズラリー⑥	未

※マイブククエストは埋蔵文化財センターで開催

合計575人

(カ) その他

5月21日(日)は国際博物館の日(5月18日)、11月24日(金)は県民の日  
学校ホリデーにちなみ常設展示を観覧無料にした。

(キ) 刊行物

a 特別展・企画展図録(パンフレット)

企画展「安城の今昔4はかり<sup>ます</sup>☑ー暮らしのなかのはかる道具-

	A4	8頁	1,600部
特別展「安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏」	A4	79頁	1,200部
特別展「安城譜代2 三河本多一族」	A4	76頁	1,200部
企画展「家康と三河の城」	A4	8頁	1,600部
b 安城歴史研究 No.49 (予定)	B5	80頁	250部
c 年報 第32号	A4	55頁	350部
d 「れきしみち」	各A4	8頁	2,500部

No.129 7月号、No.130 10月号、No.131 1月号、No.132 4月号(予定)

e 催し物案内

2023年度下半期	10月～3月	87,500部
2024年度上半期	4月～9月(予定)	87,700部

(ク) 見学学習

a 市内小学校(企画・特別展、常設展、埋文セ)見学

月日	曜	学校名	学年	人数	月日	曜	学校名	学年	人数
5/17	水	安城東部小	6	80	6/16	金	三河安城小	6	94
5/19	金	二本木小	6	122	6/20	火	梨の里小	6	77
5/23	火	明和小	6	48	6/23	金	安城南部小	6	96
5/25	木	安城西部小	6	89	6/27	火	今池小	6	68
5/31	水	安城北部小	6	130	6/28	水	高棚小	6	42
6/2	金	桜林小	6	95	6/30	金	作野小	6	99
6/6	火	桜井小	6	141	7/4	火	桜町小	6	98
6/7	水	志貴小	6	25	10/5	木	新田小	6	71
6/8	木	祥南小	6	49	11/1	水	丈山小	6	94
6/9	金	錦町小	6	100	11/16	木	安城中部小	6	81

6	13	火	里町小	6	81					
						小学校児童数 計				1,780
						R4	1,853	R3	1,900	

b 市内中学校（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月日	曜	学校名	学年	人数	月日	曜	学校名	学年	人数			
5	24	水	安城西中	2	260	6	29	木	安祥中	2	152	
5	26	金	東山中	2	233	10	18	水	明祥中	2	126	
6	1	木	安城北中	2	272	12	1	金	桜井中	2	238	
									中学校生徒数 計		1,281	
									R4	1,079	R3	1,366

c 市外小中学校（児童・生徒）（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月日	曜	学校名	学年	人数	月日	曜	学校名	学年	人数			
		なし										
									市外小中学校児童生徒数 計		0	
									R4	145	R3	140

(ケ) 中高生の職場体験

【市内中学校2年生】

学校名	収蔵庫 見学	土器 洗い	土器 作り	受付 補助	見学学 習補助	事務 作業	インタ ビュー	その他	備考			
篠目中	○	○	○	○	○	○	○	○	4日間・3人			
桜井中	○	○	○	○	○	○	○	○	4日間・1人			
安祥中	○	○	○	○	○	○			4日間・4人			
明祥中	○	○	○	○	○	○			4日間・1人			
									参加生徒数 計	9人		
									R4	10人	R3	14人

【高等学校】

学校名	収蔵庫 見学	土器 洗い	土器 作り	受付 補助	常設展 説明	事務 作業	インタ ビュー	その他	備考			
安城高	○	○			○	○	○	○	2日間・2人			
		○				○	○	○	1日間・1人			
知立東高	○	○					○	○	1日間・3人			
									参加生徒数 計	6人		
									R4	0人	R3	4人

(コ) 博物館実習

博物館学芸員養成講座を持つ大学からの要請により実習を行った。

a 期間：8月2日（水）～4日（金）、8日（火）～10日（木）（6日間）

b 実習生 愛知県立大学1人、愛知大学2人、岐阜大学1人、静岡大学1人  
静岡文化芸術大学1人、中京大学3人、名古屋芸術大学1人  
三重大学2人 計12人

c 実習日程

開催日	午 前	午 後
8月2日	文化振興課の役割（講義） 芸術文化行政（講義）・市民ギャラリー 見学 博物館見学	文化財保護行政（講義）・埋文セン ター見学 博物館と学校教育（講義） 博物館業務（講義）
3日	企画展示の流れ（講義） 考古資料の取り扱い	考古資料の取扱い 常設展示室の展示替え
4日	常設展示室の展示替え	地域博物館の役割（講義） 美術資料の取り扱い
8日	歴史史料の取扱い	歴史史料の取扱い 常設展示室の展示替え
9日	民俗資料の取り扱い	常設展示室の展示替え
10日	常設展示室の展示替え	展示替えプレゼンテーション 常設展示替え

オ 地域連携活動

(ア) 博物館ボランティア

開催日	活動内容	ボランティアガイド延人数	参加人数
6月7日～ 11月14日 (延7日)	一般向け常設展示解説	16	175

(イ) 学校教育活動への支援

小学年3年生の「昔の道具」学習などに対し、体験用民具資料を貸出。（1件）

貸出期間	貸出資料	貸出先	点数
11月8日～22日	綿繰機	桜林小学校	1



## カ 公園事業

開催日	事業名	参加人数
4月15日	さとのマルシェ	中止
5月6日	さとのマルシェ	359
6月24日	さとのマルシェ	598
7月22日	さとのマルシェ	367
8月26日	さとのマルシェ	516
8月27日	さとのマルシェ	653
9月18日	さとのマルシェ (4月15日の代替)	301
10月7日	さとのマルシェ	698
10月8日	さとのマルシェ	407
11月18日	さとのマルシェ	261
3月9日	さとのマルシェ	未

合計4,160人

## (3) 令和6年度事業計画 (案)

### ア 令和6年度展覧会

種別	テーマ	期 間	開館日数
企画展	安城の今昔5 はたらく道具たち —職人の仕事道具—	4月13日～6月30日	70日
特別展	ごろごろまるまるネコづくし	7月13日～9月8日	52日
特別展	国絵図の世界—描かれた江戸時代の三河	9月28日～11月10日	40日
企画展	大災害 (仮題)	11月30日～1月19日	38日
特別展	収藏品展 - 節句 - (仮題)	2月8日～3月23日	40日

### イ 講座・歴博イベント・上映会など

別紙上半期催し物案内 (案) 参照

## 令和6年度企画展開催要項（案）

- 1 名称 「はたらく道具たち 一職人の仕事道具―」（仮題）
- 2 開催期間 令和6年4月13日（土）～6月30日（日） 実日数70日
- 3 主催 安城市歴史博物館
- 4 趣 旨

ひと昔前までの暮らしでは、職人たちはわたしたちの生活にとっても身近な存在でした。大工、屋根屋、板金屋などの職人たちは家を建てる時に欠かせない存在でしたし、襖など家の中の調度品は建具屋によって作られていました。農作業に欠かせない鍬や鋤は鍛冶屋が作り、壊れたときは職人が修繕することで、長く使うことができました。桶などの生活道具も同様に、その多くは職人たちの手で作られ、修繕され、利用されてきたものです。

本展覧会では大工や鍛冶屋、桶屋など人々の暮らしの身近にいた職人から、安城にゆかりの深い素麺や煙火の職人まで、さまざまな職人の仕事と道具を紹介します。

- 5 会場 安城市歴史博物館 企画展示室
- 6 観覧料 無料
- 7 展示構成

### 第一章 職人の仕事と道具

- 1 家を建てる  
大工や建具屋など、建築に関わる職人と道具を紹介
- 2 道具を作る  
箆屋、鍛冶屋（農鍛冶）など、仕事道具を作る職人と道具を紹介

### 第二章 生活道具と職人

- 1 日用品を作る  
桶屋、靴屋など生活に密着した道具を作る職人を紹介
- 2 身の回りの道具を作る  
身の回りにある道具の中で、職人が手掛けていた道具を紹介

### 第三章 安城に根ざす職人たち

和泉そうめんや三河煙火など、地域ならではの職人を紹介

## 8 関連事業

- (1) 記念講演会「江戸時代の職人を読み解く」  
講師：篠宮 雄二 氏（中部大学 人文学部 歴史地理学科 教授）  
日時：5月18日（土） 14：00～
- (2) 歴博講座「職人道具の世界（仮）」  
講師：千田 佑香（本館学芸員）  
日時：6月1日（土） 14：00～

## 9 印刷物

- ・パンフレット A4判、8ページ、オールカラー、1,600枚
- ・ポスター A3判、オールカラー、400枚  
B2判、オールカラー、700枚
- ・チラシ A4判、表面カラー・裏面2色刷り、8,000枚

## 令和6年度特別展開催要項（案）

- 1 名称 特別展「ごろごろまるまるネコづくし」
- 2 開催期間 令和6年7月13日（土）～9月8日（日） 実日数52日
- 3 主催 安城市歴史博物館・中日新聞社
- 4 企画協力 株式会社アートワン
- 5 趣 旨

人間の身近なパートナーとして犬と猫はよく知られていますが、美術や文学に表現されるのは圧倒的に猫が多いようです。気まぐれで複雑で非合理的で、ときにとびきり甘えん坊な美しい動物は今も昔も人々を惹きつけました。日本では猫は『源氏物語』に宮中で寵愛され、近世になると肉筆画や浮世絵版画に数多く登場するようになりました。大の猫好きで知られる浮世絵師・歌川国芳の周りには常に猫がいました。

本展では、猫の浮世絵を中心に、猫の生態や人間との関係に着目し、単に「かわいい」だけではない猫の奥深い魅力を紹介します。

- 6 会場 安城市歴史博物館 企画展示室
- 7 観覧料 700円 ※中学生以下無料
- 8 展示構成 作品点数140点

### (1) 猫の姿

猫は完全肉食性で、野生では鳥やねずみ、虫などの小型生物を狩猟し食べて生きています。瞬発力を必要とする狩りに備えるため、猫は多くの時間を睡眠に費やします。猫の語源は「寝る子」と言われるくらいです。

本章では、そんな猫のワイルドで自然な姿を中心に構成します。

【主な作品】歌川国芳「其のまゝ地口 猫飼五十三疋」 小林清親「猫と提灯」

### (2) 猫と暮らせば

猫好きに男女の区別はありませんが、浮世絵版画に描かれるのは、それを購入する人々が求める姿です。きれいなお姉さんと猫の組み合わせは、今も昔も「絵になる」ものです。家にねずみがいるのが当たり前だった江戸時代。猫を飼うことはねずみ退治の実用的な側面がありました。家庭を預かる女性と猫は実生活でもパートナーだったことでしょう。着物の裾に猫がじゃれつくのもリアルな仕草です。

本章では、猫と一緒に暮らすことで見えてくる「猫あるある」な魅力的な生活の一コマを紹介します。

【主な作品】歌川国貞（三代豊国）「美人合 春曙」 月岡芳年「猫を抱く美人」

### (3) 猫七変化

著しい変化が繰り返されることを「猫の目のように変わる」と言います。周囲の明るさに応じて瞬時に猫の瞳孔が開いたり、閉じたりすることからそう言われるようになりました。また、夜には猫の目が光っているようにも見えます。そうした人知を越えた神秘的な存在というイメージから、化け猫や猫又という妖怪が生まれたのでしょうか。「変化」といえば人格を変えて他人を演じる役者という存在があります。猫は歌舞伎や役者の演出にも多く描かれました。

本章では、様々な姿に変化する猫の面白さや不思議さを追っていきます。

【主な作品】歌川国芳「流行猫の曲手まり」 「猫の当て字 ふぐ」  
歌川国貞（三代豊国）「古猫の怪」

#### (4) おもちゃ絵猫

江戸時代後期から明治前期にかけて多種多様な「おもちゃ絵」が流行しました。子どもが親しみやすいよう、動物を擬人化したものが少なくなく、特に歌川国芳門人の芳藤は「おもちゃ絵芳藤」と呼ばれるほど活躍し、師匠と同様に猫を多く描いています。本章では、おもちゃ絵に登場する妙に人間くさい猫の姿を通して、当時の日本人がどのような生活を営んでいたのか、子ども達に提供しようとした笑いや学びの質とはどのようなものかを紹介していきます。

【主な作品】歌川芳藤「しん板猫尽両めん合」 二代歌川貞広「新板猫の温泉」

### 9 関連事業

#### (1) 記念講演会

特別展記念講演会「浮世絵の猫ブーム」

講師：稲垣進一氏（国際浮世絵学会常任理事）

日時：7月13日（土） 13：30～

特別展記念講演会「ネコはどうして描かれたか」

講師：月本寿彦氏（福島県立美術館副主任学芸員）

日時：7月20日（日） 14：00～

#### (2) 歴博講座

歴博講座「猫のおもちゃ絵」

講師：野上真由美（本館学芸員）

日時：8月17日（土） 14：00～

### 10 印刷物

- ・ポスター B2・A2判、オールカラー
- ・チラシ A4判、表裏オールカラー
- ・図録 『ごろごろまるまる猫づくし』（2024 アートワン）